

校長だより



願い、実現

令和7年8月22日

No.5

附属特別支援学校

小松 賢吾

【学校教育目標】

「自らの力をじゅうぶん発揮し、主体的に取り組む生活を今と将来にわたって実現する児童生徒の育成」

【みんなの合言葉】『自分から 自分で せいっぱい』 願い実現 楽しい附特

二学期、元気よくスタートしました！

8月20日(水)に二学期の始業式が行われました。夏休みが終わって、かなり日焼けした姿や荷物をいっぱい持ちながらもニコニコして登校して来る姿を見ると、充実した休みだったことが伺われます。ありがとうございました。始業式では、小学部そら組、中学部B組代表、高等部B組の皆さんが、夏休みの出来事や二学期にがんばりたいことの発表をしてくれました。どの発表からも夏休みが楽しかったという気持ち、二学期も自分から楽しみたいという思いが伝わってきました。本校は27日間の夏休みでしたが、長野県も夏休みは長期化の傾向にあり、長野県平均は30日を超えるそうです。全国的には40日を超える県も多い中、本校は若干短めといった感じですが、まだまだ暑いので、焦らず慌てず、まずは慣らしながらのスタートです。

二学期は86日間もあり行事が一杯です。始業式では、「なかま」を意識して、より楽しい活動、より充実した生活になるように話をしました。なかまの力も借りて、新しいことや少し難しいことでも「やってみよう!」という意欲的な二学期を過ごすことに期待したいと思います。

「すみれ会」が開催されました

夏休みに入って最初の日曜日である7月27日に、本校の同窓会である「すみれ会」が開催されました。本校卒業生と過去に在籍していた職員、合わせて84名もの皆さんが参加してくださいました。高等部生徒・保護者と現職員を合わせると、総勢140名近い方で、近況報告をしあったり、当時を懐かしむようにアルバムを見ながら思い出話をしたりしました。

全体会では、高等部生徒による「なろっぱく2025」のコーナーを巡るスタンプラリーをしたり、「どんどこ座」の太鼓演奏を聞いたりしました。「どんどこ座」には本校の卒業生もたくさんお世話になっています。元気いっぱい太鼓をたたいている姿を見ると、安心するとともに、頼もしさを感じさせていただきました。また、全体会の司会や進行してくれたのは、昨年度高等部を卒業した皆さんでした。とても懐かしそうに校舎や体育館を見ながら、楽しそうに、自信をもって会の進行をする姿からは、社会人としての誇りや意気込みを感じました。大事に続けたい行事です。



二学期のスタートにあたって

本校は、子どもたち一人一人の尊厳を守り、子どもたちや保護者の皆さんにとって安心して学び生活できる環境づくりを最も大切にしています。二学期以降も「安全で安心な学校」であるために、引き続き子どもたちの人権が尊重された教育活動が行われ、体罰や不適切な指導が決して行われないよう全教員で再確認し、学校全体で次のような取組を進めて参ります。

「学校としての取組」

- ・「体罰ゼロ」「非違行為ゼロ」の方針を明確にし、教職員で共有します。
- ・児童生徒への支援は、チームで行う体制を整えます。
- ・教員同士で授業や支援の様子を見合うとともに、支援が適切に行われているかを管理職が日常的に確認します。
- ・気になる支援や指導がある場合には、教員と管理職で共有し、早急に改善を図ります。
- ・大きな声を出す威圧的な叱責や指導、不適切な関わりなどは、決して行いません。
- ・管理職や専門家（大学教員等）と連携し、担任が一人で抱え込まずに対応できる体制を整えます。

「教職員の研修」

- ・子どもの行動や特性を理解し、適切な課題設定と支援を行うための研修を行います。
- ・体罰防止や非違行為防止研修を通して、自身の支援のあり方や子どもたちへの関わり方を自省していきます。

「保護者・地域との連携」

- ・学校の教育方針や学校でのお子さんの様子など丁寧にお伝えし、ご理解とご協力をいただきながら進めて参ります。
- ・不安定になり自傷や他害などの恐れがある場合や飛び出しなどの危険な行為があった場合に限り、本人または周囲への安全確保のため、やむを得ず必要最低限の接触（手を持って制止する、体を張って進路をふさぐなど）を行うことも想定されます。安全確保のための接触があった場合には、必ず教員と管理職で共有し、状況や経緯について保護者にご報告し、今後の対応についてご意見を伺いながら支援改善の方向を協議していきます。
- ・ご心配なことやご意見を伺う相談窓口（保健室：養護教諭、教員室：教頭、校長室：校長）を設けています。

今後も、子どもたちが安心して学び生活できる環境をつくるため、教職員一同努めて参ります。職員の子どもたちへの支援や指導で気になることがありましたら、早期対応を図って参りたいと思いますので、些細な事でも相談窓口または担任までご相談ください。ご家庭や地域の皆様からのお声を学校運営に生かして参りたいと思います。ご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

お知らせとお願い

○修学旅行、宿泊行事について

二学期には、各部の修学旅行や宿泊学習が多く行われます。食物アレルギーや疲れた時に現れやすい体調変化など、担任と家庭で細かな打ち合わせを行わせていただき、万全な準備をして行かれるようにしたいと思います。また、本人と同行者全員の安全を最優先させていただくため、状況によっては、現地へのお迎えをお願いすることがあるかもしれません。ご理解とご協力をお願いいたします。

相談しながら準備を整えたいと思いますので、どんな細かな事でも、心配なことは遠慮なさらずにご相談いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。